

科目区分	専門教育科目	科目名	生活支援技術E		科目コード	40505	担当者	富永君代 野口豊	
対象学生	介護福祉士コース2年生	学期区分	後期	単位数	1		卒業要件	必修	
							免許・資格要件	介護福祉士必修	
科目の主題							成績評価の方法と割合		
視覚障害者・聴覚障害者の特性を理解し、支援の方法・技術について学ぶ							富永:定期試験(80%)受講態度(20%) 野口:定期試験(70%)提出物(30%)		
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)	明確な意志と実践力(実践)
1.	聴覚障害の特性と生活上の困難と制約を理解し支援方法を習得する					○	○	○	
2.	盲ろう者の特性と生活を理解し、支援方法及び留意点を習得する					○	○	○	
3.	視覚障がい者の特性と視覚障がいの者の生活上の困難と制約を理解する。					○	○	○	
4.	視覚障がい者の日常生活及び社会参加を支援する方法とその留意点を理解する。					○	○	○	
授業方法									
講義形式・及びグループ討議、DVDを視聴しより具体的に学び、その後演習にて支援技術を体得する									
準備学修(予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)									
実習の現場で高齢者の特徴がつかめるように学習した事はきちんとノートにまとめておく									
授業計画									
第1回	聴覚障害者の介護 ①聴覚障害者の理解。生活支援技術を学ぶ							富永	
第2回	聴覚障害者の介護 ②コミュニケーション方法・演習								
第3回	聴覚障害者の介護 ③福祉制度・まとめ								
第4回	重複障害者(盲ろう者)の介護 ①盲ろう者の特性と生活支援技術・移動介助・コミュニケーション								
第5回	重複障害者(盲ろう者)の介護 ②盲ろう者の講演・コミュニケーション体験演習								
第6回	視覚障害者福祉制度の理解と点字器の使い方点字の書き方							野口	
第7回	視覚障害者の移動に関する支援制度の理解と点字の書き方(50音～濁音・半濁音)								
第8回	視覚障害者の外出を支援する事業「同行援護事業の基礎知識と点字学習数字の書き方」								
第9回	視覚障害に関係する疾病の理解、先天障害者と中途障害者の心理								
第10回	視覚障害者への情報支援と代筆・代読、点かなづかい～字表記法								
第11回	演習 視覚障害者のガイドの基本姿勢から段差・会談の解除法、食事介助の基本								
第12回	視覚障害者の日常生活用具・便利グッズと交通機関の利用と割引制度								
第13回	点字文章の読み書き								
第14回	場面別解除法(家庭内から外出先) 各種窓口、研修会、トイレ等、リスクマネジメント								
第15回	点字の読み書き、情報支援機器の紹介、まとめ								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
(富永) 生活支援技術Ⅲ 8巻中央法規出版					(富永) 聴覚障害者や盲ろう者について、グループワークや実技を通して学びます。盲ろう者との出会いもあります。楽しみに! (野口) 私は視覚障害者当事者です。自分の体験も交えてわかりやすい授業になるよう努めますので、宜しくお願いいたします。				
(野口) 同行援護従業者養成研修テキスト 中央法規出版									